

# DX リカレント講座 2025

全3回開催 (3回シリーズですが、興味のある回のみの受講も歓迎)

コーディネーター 社会情報学環長 吉田 智子

第1回

9月28日(日) 時間 14時～16時 場所 NDホール

## “使われる技術”ってなんだろう？～社会に広がる技術の共通点～

どんなに先端的な技術でも、実際に社会に使われなければ意味がありません。では、ある技術が広く受け入れられていくには、どんな条件が必要なのでしょうか？この講座では、生成AIのように急速に普及した技術や、IoT（モノのインターネット）やスマートグリッド（電力を融通し合う次世代の電力網）といった事例を通して、「技術が社会に広がっていく背景」や「広がりを妨げる壁」について読み解いていきます。技術的な完成度だけではない、“もうひとつの要素”に注目しながら、社会と技術の関係をやさしく紐解き、次回以降のAI講座にもつながる“思考の地図”を描きます。

講師 川本 康貴 沖電気工業株式会社 グローバルマーケティングセンター エキスパート／京都工芸繊維大学大学院 特任准教授

第2回

11月16日(日) 時間 14時～16時 場所 情報演習室2

PC操作実習も可  
(希望に応じて)

## デジタル画像の世界をのぞいてみよう～画像データでAI入門～

プリクラやスマホの写真補正では、目はぱっちり、肌はすべすべにしてくれます。AIはどうして顔のパーツを認識できるのでしょうか？本講座では、デジタル画像がどのようにスマホやコンピュータの中で扱われているのか、画像に関するAIの技術にはどんなものがあるのかを実際にプログラムを使いながら楽しく学びます。私たちが日頃何気なく使っているデジタル画像の世界と一緒にのぞいてみましょう。

講師 金光 安芸子 Wolfram Research, Inc. Internationalization Specialist／京都ノートルダム女子大学 社会情報学環 客員教授  
北村 美穂子 京都ノートルダム女子大学 社会情報学環 特任教授／Wolfram Alpha LLC. Instructor

第3回

11月30日(日) 時間 14時～16時 場所 情報演習室2

PC操作実習も可  
(希望に応じて)

## 言葉を操るコンピュータの世界をのぞいてみよう～テキストデータでAI入門～

メールやSNS、テレビ会議など、コンピュータが言葉を扱う場面がますます増えています。さらに近年では、AIが人と対話したり、議事録を作成したり、ニュース記事を執筆するなど、まるで人間のように言葉を操ることができるようになっています。本講座では、コンピュータがどのように言葉を理解し、処理しているのかを、実際にプログラムを動かしながら楽しく学びます。最先端の言語処理技術を体験しましょう。

講師 北村 美穂子 京都ノートルダム女子大学 社会情報学環 特任教授／Wolfram Alpha LLC. Instructor  
金光 安芸子 Wolfram Research, Inc. Internationalization Specialist／京都ノートルダム女子大学 社会情報学環 客員教授

第2回と第3回は情報演習室での実習を含む講座になりますが、実習は見学して講義部分を聞いていただくことも可能です。



場所

京都ノートルダム女子大学 ユージニア館 (NDホールまたは情報演習室2)

時間

各回 14時～16時 (受付開始 13時半～) 途中休憩あり

受講料

1回あたり  
500円  
(受講日当日に徴収)

定員

50名  
(1回あたり)

かわもと やすたか  
**川本 康貴**

沖電気工業株式会社 グローバルマーケティングセンター イノベーションビジネス開発部 エキスパート／  
京都工芸繊維大学大学院 特任准教授

きたむら みほこ  
**北村 美穂子**

京都ノートルダム女子大学  
社会情報学環 特任教授  
Wolfram Alpha LLC  
Instructor

かなみつ あきこ  
**金光 安芸子**

Wolfram Research, Inc.  
Internationalization  
Specialist  
京都ノートルダム女子大学  
社会情報学環 客員教授

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科を修了後、2001年に沖電気工業株式会社に入社。研究開発部門にて、IoTシステムの研究開発、無線通信プロトコルの開発・標準化活動、新規事業の立ち上げなどに従事。2014年に技術士（情報工学部門）を取得し、2018年には京都工芸繊維大学より博士（工学）を授与される。現在は、新たなICTシステムの開発やPoC（概念実証）を推進するとともに、大学院にて「IoTシステム構成論」の講義を担当。専門はIoTシステム設計および無線通信プロトコル開発。特に、IoTを活用した社会課題の解決に向けた研究開発に取り組み、技術の実社会実装に注力している。

奈良女子大学理学部卒業後、沖電気工業株式会社にて、機械翻訳を始めとする自然言語処理の研究・開発に携わる。在職中に奈良先端科学技術大学院大学にて工学博士を取得する。開発管理、新事業開発業務等を経験し、現在は、京都ノートルダム女子大学社会情報学環で教鞭を取る傍ら、Wolfram Alpha LLCにて、Wolfram Alphaの日本語処理を担当する。専門は自然言語処理。中高生や大学生を対象としたAI・データサイエンス教育の研究および実践的アプローチにも力を入れている。

お茶の水女子大学理学部卒業後、日本電子計算（株）入社。2006年に日本初のWolfram認定インストラクターを取得し、全国各地の高校や大学でWolframの技術講習会の講師を務める。現在は、Wolframの国際化業務に従事する傍ら、大学ではMDASH認定プログラム科目「AIとデータサイエンス入門」を担当。2024年には中高生向けのデータサイエンス教材をWiDS（Women in Data Science）と共同開発。わくわく楽しい体験型の学びをテーマにWolfram言語を活用したSTEAM教材の開発と実践に取り組む。

## DX リカレント講座について

京都ノートルダム女子大学は世界30ヶ国以上で教育を展開するノートルダム教育修道女会を母体としており、一貫して世界標準の情報教育を推進してきました。そして2021年度、文部科学省の「デジタルを活用した大学・高専教育高度化プラン(Plus-DX)」に関西の女子大で唯一採択され、2023年4月、情報の知識と+αの学びで多角的な視野の女性を育てる『社会情報課程（学部相当）』を開設しました（2025年4月から『社会情報学環』に名称変更）。これらを背景に地域の人材育成に情報教育分野で貢献したいと考え、2023年度から市民や社会人、地域企業の社員研修にも活用できる『文系女子大学が提案するDXリカレント講座』（『DXリカレント講座』）を開講しています。

DX（デジタルトランスフォーメーション）とは、デジタル技術を活用して、社会のビジネスモデルそのものを改革すること。

## NDアカデミーとは

京都ノートルダム女子大学は「徳と知」を建学の精神・教育の理念とし、リーダーシップをとるに必要な高度な知識と深い倫理観を身につけ、これから社会をしなやかに生きる女性を育成しています。本学の第一線で活躍する教員による上質な科目の一部を、広く一般市民向けに改編し、リカレント講座・生涯学習講座として開講することで、本学が有する知的資源を社会に還元し、社会貢献に資することを目的としています。



こちらのURLまたはQRコードからお申し込みをお願いします。

<https://forms.office.com/r/FQ7x0Bswkn>

- ◎全3回シリーズですが、興味のある回のみの受講も歓迎します。
- ◎開催方法：対面実施（京都ノートルダム女子大学ユージニア館）
- ◎受講料：1回あたり500円（受講日当日に現金にて徴収）
- ◎定員：50名（1回あたり）

- ・申込締切は原則、各受講日の1週間前までです（定員に達していない場合は延長します）。
- ・申込者がいない回は、その回の講座は実施いたしません。
- ・受講料は当日徴収いたしますので、おつりのないようにご準備ください。
- ・申込フォームによって知り得た個人情報は、当該講座実施の目的以外には利用しません。
- ・定員を超過した場合、本学で調整させていただく場合がございます。なお、定員を超過しない場合、受講結果についての連絡は行いませんので、当日、本学までお越しください。
- ・講座当日に学内のミニショップ・食堂は営業しておりませんのでご了承ください。

